

オーストラリア・アーキビスト協会からのたより

訳・安藤 正人

オーストラリア・アーキビスト協会から全史料協事務局あてに交流を希望する手紙が参りました。要旨を紹介します。

*

全史料協の仲間のみなさん

私たちオーストラリア・アーキビスト協会は、アジア・太平洋地域の仲間のみなさんに私たちの活動を広く知っていただきたいと願ひ、資料をお送りしています。

私たちの協会は 600人以上の会員を持ち、『オーストラリア・アーキビスト協会会報』というニューズレターを年 6 回、『アーカイブズ・アンド・マニユスクリプツ』という会誌を年 2 回発行しています。

協会からのニュースを同封しましたので、全史料協の会誌に紹介してくれませんか？

また全史料協の活動についても私たちにお知らせくださいませませんか？

今後、お互いにより緊密な関係を結ぶことができれば幸いです。

1990年 6月17日

オーストラリア・アーキビスト協会副会長
アン・マリー・シュワルトゥリッヒ

*

オーストラリア・アーキビスト協会からのニュース (要旨)

本会の全国大会は一年おきで、前回は1989年 6月、ホバートで開催されました。海外からの参加者も大歓迎。昨年は、カナダ、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、インドなどから参加者がありました。

次の大会は、1991年 6月11日から16日までシドニーで開催されます。準備委員会では、研修会やツアー、レセプションを含め、エキサイティングなプログラムを計画中。ICA 東南アジア部会、オーストラリア記録管理協

会、オーストラリア図書館情報協会など関係団体との円卓会議も考えています。

基調報告者には、文書館博物館情報学会会長のデイビッド・ベアマン氏、ピッツバーグ大学図書館情報学科長のトニー・カーボ・ベアマン氏を予定しています。

なお、来年からは大会は毎年開催されるようになります。

では次に最近の本会の活動をご紹介します。

科学技術常任委員会は、オーストラリア・アーカイブズ・カウンシルと共催で、1990年 10月10日から12日まで、機械可読記録に関するセミナーを企画中。場所はシドニー。

広報情報委員会は、「アーキビストとは何か？」と題するリーフレットを作成。引き続き、アーキビストの資格に関するリーフレットを準備中です。

本会が出版した *Keeping Archives* (記録史料を守る) は好評発売中。出版部では、英国でも本書を普及したいと考えています。

(この本は、本誌記事「アーカイブズをまなぶ—文献案内海外編—」に紹介してあります—編集委員会)。

各部会も、定例会や研修会に、忙しく活動しました。たとえば、西オーストラリア部会は1989年11月に、史料の組織化に関する 2 日間のセミナーを開催。NSW部会は史料保存研修会を継続中。ACT部会は今年 4 月に、各種クラブや協会の記録の管理についてセミナーを開きました。またNSW部会は、再生紙と永久紙をめぐるセミナーを今年 7 月に計画しています。

本会は、オーストラリア安全保障情報機構の文書公開についての意見書を議会合同委員会に、個人犯罪歴の秘匿事項に関する意見書をプライバシー・コミッショナーにそれぞれ

提出しました。

教育常任委員会は、次の6本の方針案をまとめました。

- No. 1 史料管理のための教育
- No. 2 教育常任委員会の役割と責務
- No. 3 アーキビストの任務
- No. 4 初等専門職レベルのコース
- No. 5 高等レベルのコース
- No. 6 アーキビストの現職者教育

なお、本会へのご連絡、お問い合わせは、右記にお願いします。

Chris Coggin
President
Australian Society of Archives Inc.
PO Box 83
O'Connor Act 2601
AUSTRALIA.

